

仙台総合ペット専門学校 令和6年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名(修業年限)		飼育管理科飼育コース(2年)	
黄色表示の授業科目は実務経験のある教員等による授業科目			
1年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番
キャリアデザイン	30		飼育コース1
コミュニケーショントレーニング	30		飼育コース2
ビジネスソフト実習(1)	60		飼育コース3
ビジネスマナー	30		飼育コース4
愛玩動物飼養管理学	30	○	飼育コース5
アクアリウム学	60	○	飼育コース6
アクアリウム実習	120	○	飼育コース7
飼育管理学(1)	60	○	飼育コース8
飼育管理実習(1)	120	○	飼育コース9
小動物の病気と健康管理	30	○	飼育コース10
総合学習(1)	60	○	飼育コース11
爬虫類実習(1)	60	○	飼育コース12
販売士演習	60	○	飼育コース13
ペットショップ会計	60	○	飼育コース14
実務経験のある教員等による授業単位合計	660		

2年次			
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアガイダンス	60		飼育コース15
ビジネスソフト実習(2)	60		飼育コース16
マリンアクアリウム学	60	○	飼育コース17
マリンアクアリウム実習	120	○	飼育コース18
ペットショップ販売学	60	○	飼育コース19
飼育管理学(2)	60	○	飼育コース20
飼育管理実習(2)	120	○	飼育コース21
小動物繁殖学	30	○	飼育コース22
総合学習(2)	30	○	飼育コース23
爬虫類・両性類・昆虫学	30	○	飼育コース24
爬虫類実習(2)	60	○	飼育コース25
プレゼンテーション	30		飼育コース26
ドッググルーミング実習	120	○	飼育コース27
POP広告実習	120	○	飼育コース28
実務経験のある教員等による授業単位合計	810		

合計 1,470

令和6年度 シラバス

授業科目名	キャリアデザイン		担当者名	菅原 学			
			実務経験				
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	後期	必修	講義
30							
授業概要	将来の仕事イメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成など、就職活動の基本について学ぶ。						
学習到達目標	1. 自分を客観的に見て身だしなみや振る舞いを整えられる 2. ルールとマナーの違いを理解し、人から物事を教わる姿勢をとることができる 3. 就職活動で必須となる、履歴書の正しい書き方を理解し、作製できる						
評価方法	出席状況、筆記試験、提出物等を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業オリエンテーション			授業スケジュールについて			
2	『言葉の便利さ』を理解・体験しよう			コミュニケーションゲーム『ナンバーコール』、 『ジェスチャーゲーム』			
3							
4	ルールとマナーの違いについて			ルールとマナーの線引きについて			
5	まとめ			教えられ上手になる/社会人としてのマナー、 『教えられ上手になるためにすべきこと』			
6							
7	履歴書について、履歴書の作成①			履歴書の役割、意図の理解			
8	履歴書の作成②			サンプルを参考に、履歴書の下書き			
9	履歴書の作成③						
10	履歴書の作成④						
11	履歴書の作成⑤			清書			
12	企業研究について			冬休みの課題(企業研究)説明と進め方			
13	2年次のコース選択アンケート、志望動機の作成について			今後の就活の就職活動の流れ			
14	後期末試験						
15	試験返却、1年の振り返り			インターンシップの流れについて			

令和6年度 シラバス

授業科目名	コミュニケーショントレーニング		担当者名	菅原 学			
			実務経験				
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	前期	必修	講義
30							
授業概要	ペット業界で求められる仕事への取り組み方や心構え、業界理解と接客に必要とされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。						
学習到達目標	1. 聞く姿勢・話す姿勢が正しくできる 2. 挨拶・掃除など基本的な生活習慣が身についている 3. 報連相ができる						
評価方法	出席状況、筆記試験、実技試験を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業オリエンテーション			ハイオアシス運動、出席確認について			
2	学生記録書の作成			教科書の配布、献本、自己紹介			
3	ジョブパス、愛玩などの資格取得について			申し込み、今後のスケジュールについて			
4	コミュニケーションとは、なぜ必要なのか			グループディスカッション、発表			
5	コミュニケーションの種類について			言語的・非言語的コミュニケーションの違い			
6	非言語的コミュニケーション『メラビアンの法則』について			メラビアンの法則で気を付けること (グループディスカッション・発表)			
7							
8	言語的、非言語的コミュニケーション、メラビアンの法則について			レポート作成			
9	『仕事ができる人のABCDの法則』について						
10	ペット業界で求められる人材(エンプロイアビリティ)			エンプロイアビリティとは(各自考察)			
11				各自意見をまとめた後、グループディスカッション			
12	ペット祭について			ペット祭の流れなど			
13	期末試験について(出席率、評価判定)			学生マニュアルの参照、試験範囲の説明			
14	前期末試験(筆記と実技)						
15	試験返却、前期科目の振り返り			各自授業で感じたことを発表			

令和6年度 シラバス

授業科目名	ビジネスソフト実習(1)		担当者名	山口 順子			
			実務経験				
教科書	30時間でマスターWord2019 実教出版	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		1					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	前期	必修	実習
30							
授業概要	ビジネス社会でパソコンは欠かせない道具(ツール)であり、ペット業界とはいえ例外ではない。その中でもビジネス文書の作成は特に求められるスキルであり、その手段としてワープロソフトの利活用ができる能力を身に付ける。						
学習到達目標	ビジネスソフトのひとつである表計算ソフトの基本的な操作方法を理解する。MS-Wordを使用し、基本的な操作方法を理解する。また、全国経理教育協会主催の文書処理検定(3・2級)の取得も目標とする。						
評価方法	出席状況、課題取組・実技試験を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション、PCの使い方			教科目標、windowsの操作など			
2	文字入力			ひらがな・カタカナ・漢字・英字・記号の入力			
3	文書作成			簡単な文書を作成、文節変換			
4	文書作成			文書ファイル管理、フォルダ作成			
5	文書作成			ビジネス文書構成、ページのサイズ、行数、文字			
6	文書作成			編集(移動、コピー、削除など)			
7	文書作成			編集(文字位置、インデント、箇条書き)			
8	文書作成			縦書き文書と文字装飾 内定のお礼状形式で納			
9	編集機能(表の作成)			表作成(行、列の追加・削除・線種など)表入りビ			
10	編集機能(表の作成)			表作成(セルの結合・分割など)			
11	編集機能(図版の活用)			画像、テキストボックスの利用			
12	編集機能(図版の活用)			画像の編集・効果、整列、順番、グループ化、頂点)			
13	編集機能(ワードアート)			ワードアートのスタイル、効果、掲示物の作成			
14	編集機能(図形)			図形描画(地図作成)			
15	前期末試験			全経2級程度の内容(入力と文書作成)			

令和6年度 シラバス

授業科目名	ビジネスマナー		担当者名	菅原 学			
			実務経験				
教科書	2023年版 B検 ビジネス能力検定 ジョブパス 3級 公式試験問題集	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	前期	必修	講義
授業概要	社会人として企業で働く上でのマナー(ビジネスマナー、接遇、一般常識、職務基礎知識等)について全般的に学ぶ。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。						
学習到達目標	1. 社会的、職業的に自律した社会人になるための考え方を持つ 2. 働く意義を考え、自分が何のために働くのかを理解することができる 3. 学生時代に身につけるべきことを理解し、社会人になるための準備を進められる						
評価方法	出席状況、筆記試験、授業態度、ジョブパス資格試験の可否を総合的に勘案し判断						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業オリエンテーションと科目目標について						
2	ビジネスマナーが求められる理由について			グループワーク(ディスカッション)			
3	ビジネス能力検定 ジョブパス3級について			教科書を用いて説明			
4	ジョブパス練習問題を通して出題傾向を知る			グループ学習			
5	ジョブパス過去問題(31年度)の解答及び解説			教科書P22～P31『8つの意識』			
6	ジョブパス過去問題(31年度)の解答及び解説			教科書P32～P43『コミュニケーションの基本』			
7	ジョブパス過去問題(27年度)の解答及び解説			教科書P48～P53『報告・連絡・相談の仕方』			
8	ジョブパス過去問題(28年度)の解答及び解説			教科書P64～P71『来客応対の基本』			
9	ジョブパス過去問題(29年度)の解答及び解説			教科書P98～P111『ビジネス文書について』			
10	ジョブパス過去問題(30年度)の解答及び解説			教科書P114～P121『電話応対の重要性について』			
11	ジョブパス資格試験対策 個別学習			自身が苦手とする分野の学習にあてる			
12	言葉遣いについて『敬語とは』			教科書P58～P59『敬語の種類と必要性』			
13	言葉遣いについて『丁寧語・尊敬語・謙譲語とは』			教科書P60～P62『尊敬語と謙譲語の正しい使い方』			
14	前期末試験						
15	試験の返却と前期科目『ビジネスマナー』振り返り			レポート作成			

令和6年度 シラバス

授業科目名	愛玩動物飼養管理学		担当者名	菅原 学			
			実務経験	総合ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第1巻、第2巻 公益社団法人 日本愛玩動物協会	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	後期	必修	講義
時間数	30						
授業概要	2級愛玩動物飼養管理士試験の合格を目標に、動物関連の法律から動物愛護史、動物の正しい飼養方法や栄養管理、動物の生体についてや公衆衛生に至るまで、様々な勉強を行う。						
学習到達目標	2級愛玩動物飼養管理士に合格すること。						
評価方法	筆記試験						
	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	愛玩動物飼養管理士とは			概要と過去の合格実績			
2	夏休みの課題と進め方について			練習問題の実施			
3	課題への取り組み			グループワーク			
4							
5	スクーリングの実施			協会主催のスクーリング			
6							
7							
8							
9	期末試験の実施			課題報告問題			
10	課題報告問題の解答および解説			教本第1巻			
11							
12				教本第2巻			
13							
14	本試験前直前対策			傾向を見て苦手箇所を集中的におこなう			
15							

令和6年度 シラバス

授業科目名	アクアリウム学		担当者名	菅野 政隆			
			実務経験	熱帯魚の専門店を経営している。			
教科書	THE AQUARIUM ATLAS 熱帯魚3200種大図鑑 はじめての熱帯魚と水草 アクアリウムBOOK	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	通年	必修	講義
授業概要	熱帯魚を飼育する上で必須となる基礎知識、各飼育用品、水質、一般的な魚種の特性・飼育方法について図鑑を活用し学習する。						
学習到達目標	熱帯魚を飼育するためには何が必要か、魚種ごとの飼育方法・見合った設備・病気を理解し、説明できる知識を身につける。						
評価方法	筆記試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	アクアリウム学の授業について・アクア室の使い方			なぜアクアリウムを学ぶのか。アクア実習室の使い方を理解する			
2	熱帯魚飼育に必要な設備・水槽サイズと水量			熱帯魚を飼育するためにはどんな設備が必要なのかを理解する			
3	水槽台と水温計とヒーター			水槽台・水温計・ヒーターの必要性・種類ごとの特徴を理解する			
4	ヒーターの注意点・ライトの特徴			ヒーターを使用する上での注意点、各ライトの種類ごとの特徴を理解する			
5	水質調整剤の種類・床砂の種類と特徴			カルキ抜き・その他の水質調整剤・床砂の種類ごとの特徴を理解する			
6	バックスクリーンの必要性・ろ過のメカニズム			バックスクリーンの種類と特徴・ろ過とほどういふことかを理解する			
7	投げ込み式フィルター・スポンジ式フィルターの特徴			投げ込み式・スポンジ式フィルターの特徴、用途を理解する			
8	水中式フィルター・外掛け式フィルターの特徴			水中式・外掛け式フィルターの特徴、用途を理解する			
9	底面式フィルター・上部式フィルターの特徴			底面式フィルター・上部式フィルターの特徴、用途を理解する			
10	外部式フィルターとオーバーフローの特徴			外部フィルター・オーバーフローの特徴、用途を理解する			
11	人工飼料と冷凍飼料の特徴			人工飼料と冷凍飼料の種類、与え分け方を理解する			
12	乾燥飼料の特徴と魚の食性			乾燥飼料の種類・与え分け方・魚の食性の特徴を理解する			
13	小型カラシンの特徴・生息地			小型カラシンの性質の特徴、生息地を理解する			
14	前期末試験 筆記試験						
15	前期末試験 解答・解説						
16	小型カラシンの飼育のポイント			小型カラシンの飼育のポイントを理解する			
17	熱帯魚の病気			病気の種類・治療方法を理解する			
18	小型カラシン代表種			小型カラシンの代表種を覚える			
19	中・大型カラシンの特徴・飼い方・代表種			中・大型カラシンの特徴、飼育のポイント、代表種を覚える			
20	ピラニアの特徴・飼い方・代表種			ピラニアの特徴、飼育のポイント、代表種を覚える			
21	グッピーの特徴・飼い方			グッピーの特徴、飼育のポイントを理解する			
22	ブラインシュリンプの孵化方法・繁殖			ブラインシュリンプを与える理由・与え方・グッピーの繁殖方法を理解する			
23	グッピーの病気・代表種			グッピーの病気、主な代表種を覚える			
24	プラティ・モーリーの特徴・飼い方・代表種			プラティ・モーリーの特徴、飼育のポイント、代表種を覚える			
25	ラスボラの仲間の特徴・飼い方・代表種			ラスボラの仲間の特徴、飼育のポイント、代表種を覚える			
26	ディスカスの特徴・飼い方・繁殖・代表種			ディスカスの特徴、飼育のポイント、繁殖方法、代表種を覚える			
27	エンゼルフィッシュの特徴・飼い方・代表種			エンゼルフィッシュの特徴、飼育のポイント、代表種を覚える			
28	後期末試験 筆記試験						
29	後期末試験 解答・解説						
30	淡水魚と海水魚の違い・メンテナンス方法			淡水魚とは何が違うのか、日常的な管理方法を理解する			

令和6年度 シラバス

授業科目名	アクアリウム実習		担当者名	菅野 政隆			
			実務経験	熱帯魚の専門店を経営している。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	通年	必修	実習
120							
授業概要	アクアリウム実習室内に設置している水槽を使用し、日常的な管理を行っていく。各用品や道具、薬剤の使用方法や水槽の設備管理方法などを実演解説する。						
学習到達目標	アクアリウム実習室内の道具や備品の使い方を身につける。水槽のメンテナンス方法・手順・作業工程をできるよう、実践管理を繰り返し行い身につける。						
評価方法	実技試験						
時数	授 業 内 容		到達目標・学習課題など				
1	2年生と合同で行い、水槽メンテナンス方法の手順を学ぶ		水槽メンテナンスとは何をすることなのか、どのような手順で行うのかを理解する				
2	2年生と合同で行うが、1年生主体で水槽管理を行う		担当した水槽の作業手順を覚え、2年生の補助なしでもできるようにする				
3	コケ取り方法・砂利クリーナーの使い方		コケ取り・砂利クリーナーを行う理由・やり方を理解する				
4	砂利のならし方・ホースの使い方		スクレーパーの正しい使用方法・ホースの巻き方を身につける				
5	水換えの意図・カルキ抜き使用方法		水換えを行う理由・カルキ抜きについて理解する				
6	ヒーターについて		ヒーターのコンセントの正しい接続を理解する				
7	エサについて		魚種ごとに何のエサを与えたら良いかを理解する				
8	投げ込み式・スポンジ式フィルターのメンテナンス方法		投げ込み式・スポンジ式フィルターの使用方法、メンテナンス方法を理解する				
9	外掛け式フィルターのメンテナンス方法		外掛け式フィルターの使用方法、メンテナンス方法を理解する				
10	底面式フィルターのメンテナンス方法		底面式フィルターの使用方法、メンテナンス方法を理解する				
11	上部式フィルターのメンテナンス方法		上部式フィルターの使用方法、メンテナンス方法を理解する				
12	外部フィルターのメンテナンス方法		外部フィルターの使用方法、メンテナンス方法を理解する				
13	オーバーフローのメンテナンス方法		オーバーフローの仕組み、メンテナンス方法を理解する				
14	NH3、NO2、NO3の検査薬の使用方法		水質検査薬の種類、正しい使用方法を身につける				
15	水質を調べた上で管理方法を考える		検査結果ごとで問題のある水槽の管理の違いを学ぶ				
16	パッキング方法その①		パッキング方法を1パターン覚える				
17	パッキング方法その②		前回とは違うパターンの縛り方を覚える				
18	パッキング練習(酸素ポンベの使い方)		酸素ポンベを使用したパッキング方法を覚える				
19	パッキング練習(魚の掬い方)		水槽から魚を掬うところからパッキング作業全ての流れを理解する				
20	パッキング練習		さらなるパッキング技術の向上、パッキング作業時間を意識して練習を行う				
21	病気の早期発見方法		病気の早期発見方法、初期症状について理解する				
22	白点病の原因・症状・治療方法		白点病の発症原因、症状、治療薬の種類について理解する				
23	カラムナリス症の原因・症状・治療方法		カラムナリス症の発症原因、症状、治療薬の種類について理解する				
24	エロモナス症の原因・症状・治療方法		エロモナス症の発症原因、症状、治療薬の種類について理解する				
25	治療水槽の管理方法		治療水槽の日常管理方法について理解する				
26	海水水槽の設備再確認		校内で使用している海水魚水槽の設備を理解する				
27	海水の作り方		海水の作り方を理解する				
28	海水魚水槽管理方法実践		海水魚水槽をメンテナンスする手順・メンテナンス方法を理解する				
29	プロテインスキマーについて		プロテインスキマーの必要性・メンテナンス方法を理解する				
30	殺菌灯について		殺菌灯の必要性・メンテナンス方法を理解する				

令和6年度 シラバス

授業科目名	飼育管理学(1)		担当者名	武田 雅道			
			実務経験	ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	ワイド版・動物図鑑シリーズ 小動物の飼い方図鑑 日東書院	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	多様化・特殊化するペットに対応し学ぶ。						
学習到達目標	飼育の基礎、用品、用語、注意点などを理解して身につける。						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	ウサギ						飼育環境について 食事管理について 習性と日常管理について 家庭での注意点等について 使用する用品について 季節管理について 生体とのコミュニケーションについて その他の注意事項や管理について
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	ハムスター						飼育環境について 食事管理について 習性と日常管理について 家庭での注意点等について 使用する用品について 季節管理について 生体とのコミュニケーションについて その他の注意事項や管理について
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17	フェレット						飼育環境について 食事管理について 習性と日常管理について 家庭での注意点等について 使用する用品について 季節管理について 生体とのコミュニケーションについて その他の注意事項や管理について
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25	セキセイインコ～(ヒナの育て方を含む)						飼育環境について 食事管理について 習性と日常管理について 家庭での注意点等について 使用する用品について 季節管理について 生体とのコミュニケーションについて その他の注意事項や管理について
26							
27							
28							
29							
30							

令和6年度 シラバス

授業科目名	飼育管理実習(1)		担当者名	武田 雅道			
			実務経験	ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
120							
授業概要	生体に直に触れ、管理方法、清掃方法、餌の与え方、取り扱い方等について学ぶ。						
学習到達目標	生体を「管理する」という目線から様々な理解と経験を身につける。						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	生体管理、清掃等			生体の健康状態のチェック 実際に触れての確認 その他異常がないかの確認			
2							
3	用品の理解			餌の容器の回収や洗浄 各自ケージ等の清掃、消毒等			
4							
5							
6	生体の理解						
7							
8							
9	餌についての理解			餌の作成			
10							
11	与えている餌の内容の理解						
12							
13	作業の動線を考える						
14							
15	各生体は各自ローテーションで管理をし、得手不得手をなくす						
16							
17	作業の身だしなみの徹底						
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

令和6年度 シラバス

授業科目名	小動物の病気と健康管理		担当者名	川村 康浩			
			実務経験	院長(獣医師)として動物病院を経営している。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数					
30							
授業概要	1. 体の基本的構造を理解する・・・骨格を構成する主要な骨の形と名称。主要な筋肉とその働き。2. 体の各臓器の位置、名称とその働きを理解する。3. 動物種による体の仕組みの違いを理解する。4. 動物種による食性と消化の違いを理解する。5. 動物種によるかかりやすい病気や怪我について学び、病気や怪我の治療及び予防について理解する。6. 動物種によるそれぞれの保定法を習得した上で、正確な投薬(強制給餌)等の手技も合わせて習得する。						
学習到達目標	動物種による体の仕組みや食性の違いを理解し、病気の予防に応用できる知識を身につける。日頃の飼育管理や投薬などスムーズに行えるようになるために、動物種による保定法をしっかりと習得する。						
評価方法	筆記試験、口頭試問、実技試験を勘案し総合的に判断						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			動物の命とは何か。人との関わりとは何か。			
2	骨格を構成する主要な骨			頭部・頸部・体幹部の骨の構成と名称を理解する			
3				前肢・骨盤・後肢の骨の構成と名称を理解する			
4	主要な筋肉とその働き			上半身の筋肉の名称とその働きを理解する			
5				下半身の筋肉の名称とその働きを理解する			
6	各臓器の位置、名称とその働き			消化器系の位置、名称とその働きを理解する			
7				呼吸器系の位置、名称とその働きを理解する			
8	動物種による体の仕組みの違い			哺乳類・は虫類・両生類・鳥類・魚類の体の違いについて理解する			
9				哺乳類・は虫類・両生類・鳥類・魚類の体の違いについて理解する			
10	動物種による食性と消化の違い			肉食動物と草食動物の違いについて理解する			
11				雑食動物、食虫動物について理解する			
12	動物種によるかかりやすい病気や怪我			種々のエキゾチック動物がかかりやすい病気や怪我について理解する			
13				種々のエキゾチック動物がかかりやすい病気や怪我について理解する			
14	動物種によるそれぞれの保定法			種々のエキゾチック動物の保定法を習得する			
15	正確な投薬(強制給餌)等の手技			種々のエキゾチック動物の正確な投薬手技を習得する			

令和6年度 シラバス

授業科目名	総合学習(1)		担当者名	菅原 学			
			実務経験	総合ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	2023年版 B検 ビジネス能力検定 ジョブパス 3級 公式試験問題集	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
時間数	60						
授業概要	他の科目と関連付け、愛玩動物飼養管理士やビジネスマナーなどの各種資格試験の対策を行う総合的な学習を目的とした科目であり、そのほか、各行事や郊外研修に関する連絡やクラスでの取り決めなども実施する。						
学習到達目標	1. 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につけること 2. 学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的に、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること						
評価方法	出席状況、筆記試験、授業態度を勘案し総合的に判断						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業オリエンテーションと科目目標について						
2	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			ビジネス用語の解説			
3	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			新聞問題の解説、解き進め方(P132~P134)			
4	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			新聞問題の解説			
5	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			ケース問題の解説、解き進め方(P84~P95)			
6	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			ケース問題の解説			
7	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			データ問題の解説、解き進め方(P122~P127)			
8	ジョブパス対策 模擬試験の解答及び解説			データ問題の解説			
9	ジョブパス本試験対策 個別学習			自身が苦手とする分野の学習に充てる			
10	愛玩動物飼養管理士について			ペット業界で求められる理由と資格取得の流れ			
11	愛玩動物飼養管理士課題報告問題と夏休みの課題について			課題の実施方法と必要性の説明			
12	愛玩動物飼養管理士課題報告問題の実施			グループワーク			
13	夏休みの課題返却と前期末試験試験範囲の発表			課題評価、総括			
14	前期末テスト						
15	テスト返却、前期まとめ						
16	後期『総合学習』流れと進め方						
17	日本語力について			グループワーク『自分の考えていること伝える難しさを知る』			
18	ペット祭について			メンバー顔合わせ			
19				ペット祭準備			
20	日本語ドリル 基本構文力について			テキスト、問題の配布			
21				構文問題の作成(一人三問)			
22	日本語ドリル 要約力について			要約力とは。プリント配布、黙読			
23				要約力問題の実施。マンガを要約してみよう			
24				相手の話を要約しよう(グループワーク)			
25	日本語ドリル 言葉の時間間隔について			言葉の時間間隔とは。プリント配布、黙読			
26				自身の話すスピードを理解しよう(グループワーク)			
27	日本語ドリルまとめ プレゼンテーションについて			自身の趣味についてのプレゼン内容を考える(1分間の発表)			
28				発表、評価			
29	後期末テスト						
30	試験返却、まとめ						

令和6年度 シラバス

授業科目名	爬虫類実習(1)		担当者名	菅野 政隆			
			実務経験	熱帯魚の専門店を経営している。			
教科書	爬虫両生類の上手な飼い方 株式会社 エムピージェー	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	通年	必修	実習
		60					
授業概要	爬虫類実習室に設置されている各設備や専門用品を活用しながら爬虫類・両生類の生体管理実習を行うていく。						
学習到達目標	室内の各設備や専門用品の使用方法を身に付ける。種別による適切な給餌・日常管理方法を身に付け、各生体の持つ特性を理解する。						
評価方法	実技試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			実習室の使い方・注意点を学ぶ			
2	2年生との合同実習			2年生から実習中の管理方法を学ぶ			
3							
4	エサの作り方			各生体別のエサの作り方を理解する			
5	水の与え方			各生体別の水の作り方を理解する			
6	噴霧のやり方			正しい噴霧の仕方を理解する			
7	水換えのやり方			水棲生体の水換えの方法を理解する			
8	食性について(肉食)			肉食性の生体について理解する			
9	食性について(草食)			草食性の生体について理解する			
10	食性について(雑食)			雑食性の生体について理解する			
11	エサについて(リザードフード)			リザードフードの特徴・与え方を理解する			
12	エサについて(トータスフード)			トータスフードの特徴・与え方を理解する			
13	エサについて(野菜)			野菜の与え方・種類について理解する			
14	エサについて(コオロギ)			コオロギの種類・与え方について理解する			
15	エサについて(マウス)			マウスの種類・与え方について理解する			
16	エサについて(その他人工飼料)			レパシーなどその他人工飼料の種類・与え方を理解する			
17	設備(ケージ種類)			ケージごとの特徴・種類を理解する			
18	設備(紫外線)			紫外線の必要性・種類を理解する			
19	設備(バスキング)			バスキングライトの必要性・種類を理解する			
20	設備(保温球)			保温球の必要性・種類について理解する			
21	設備(パネルヒーター)			パネルヒーターの必要性・種類について理解する			
22	設備(床材)			床材の必要性・種類について理解する			
23	持ち方・保定方法			各生体の持ち方・保定方法を理解する			
24	フトアゴヒゲトカゲについて			フトアゴヒゲトカゲの特徴・生態を理解する			
25	ヒョウモントカゲモドキについて			ヒョウモントカゲモドキの特徴・生態を理解する			
26	グリーンイグアナについて			グリーンイグアナの特徴・生態を理解する			
27	アンボイナホカゲトカゲについて			アンボイナホカゲトカゲの特徴・生態を理解する			
28	アオジトカゲについて			アオジトカゲの特徴・生態を理解する			
29	サバンナモニターについて			サバンナモニターの特徴・生態を理解する			
30	リクガメについて			各リクガメの特徴・生態を理解する			

令和6年度 シラバス

授業科目名	販売士演習		担当者名	山口 靖晃			
			実務経験	経営戦略の支援企業に勤務している。			
教科書	1回で合格!販売士検定3級 テキスト&問題集 成美堂出版	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	後期	必修	演習
時間数	60						
授業概要	販売士検定3級の合格を目指し、検定対策を中心に学習を進めていく。また、学習終了時、その学習に沿った課題とその回答の提出を図り、体得させる。						
学習到達目標	リテールマーケティング(販売士検定)3級に合格すること						
評価方法	出席状況、筆記試験等を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			販売士とは何か			
2	小売業の種類			小売業の役割とは何か			
3	小売業の種類			チェーンオペレーションを学ぶ			
4	小売業の種類			店舗形態の特徴を学ぶ			
5	マーチャライジング			マーチャライジングサイクル			
6	マーチャライジング			仕入・適正管理			
7	マーチャライジング			係数・損益、商品回転率、値入率			
8	ストアオペレーション			朝礼・ミーティングの意味			
9	ストアオペレーション			人時生産性とは			
10	ストアオペレーション			陳列形態を学ぶ			
11	マーケティング			4P理論			
12	マーケティング			売れない時代のマーケティングとは			
13	マーケティング			色彩・照明を学ぶ			
14	期末試験練習			期末試験範囲を学習			
15	期末試験練習			期末試験			
16	販売・経営管理			販売管理について学ぶ			
17	販売・経営管理			損益・貸借計算			
18	販売・経営管理			人事管理について			
19	全体のまとめ			販売士の試験について			
20	全体のまとめ			傾向と対策			
21	全体のまとめ			出題傾向の抽出と時間配分			
22	検定試験に向けた練習問題への取り組み						
23	検定試験に向けた練習問題への取り組み						
24	検定試験に向けた練習問題への取り組み						
25	検定試験に向けた練習問題への取り組み						
26	検定試験に向けた練習問題への取り組み						
27	検定試験に向けた練習問題への取り組み						
28	期末試験練習			試験範囲の学習			
29	期末試験練習			試験範囲の学習			
30	期末試験			期末試験			

令和6年度 シラバス

授業科目名	ペットショップ会計		担当者名	飛田 英男			
			実務経験	簿記専門講師としての経験がある。			
教科書	全経簿記検定試験問題集3級 ネットスクール出版 全経簿記検定試験PAST3級 英光社	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	1年	通年	必修	講義
時間数	60						
授業概要	全経簿記検定3級の合格を目指し、企業の基本的業務の流れを理解し、前期において仕訳を習得し、後期には帳票を理解し経理のルールを体得する。企業の「血」である「お金」を知り、その性格やボキャブラリーを理解することで就職活動に有利にする。						
学習到達目標	全経簿記検定3級レベルの簿記能力を身に付ける。						
評価方法	筆記試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			簿記とは何か			
2	身の回りの簿記			簿記のルールと必要性を学ぶ			
3	仕訳と転記			仕訳とは、転記の重要性を学ぶ			
4	決算の手続き			決算とは			
5	現金と当座預金(1)			現金と預金			
6	商品売買			商売の意味			
7	現金と当座預金(2)			現金でも現金。当座預金とは			
8	手形			手形とは			
9	その他債権債務			債権債務を学ぶ			
10	有価証券・有形固定資産			有形財産のいろいろを学ぶ			
11	決算の手続き(2)			決算に向けての準備作業			
12	精算表・財務諸表			精算表から財務諸表			
13	伝票会計・試算表			伝票のいろいろ			
14	通し問題			一回通しの過去問をやってみよう			
15	前期試験			期末試験			
16	過去問と解説			178回			
17	過去問と解説			179回			
18	過去問と解説			180回			
19	過去問と解説			181回			
20	過去問と解説			182回			
21	過去問と解説			183回			
22	過去問と解説			184回			
23	過去問と解説			傾向と対策			
24	過去問と解説			傾向と対策			
25	過去問と解説			傾向と対策			
26	過去問と解説			傾向と対策			
27	過去問と解説			傾向と対策			
28	過去問と解説			傾向と対策			
29	過去問と解説			時間測定			
30	前期試験			期末試験			

令和6年度 シラバス

授業科目名	キャリアガイダンス		担当者名	菅原 学			
			実務経験				
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	必修	講義
60							
授業概要	企業が求める人材像を理解し、必要とされる職務知識や仕事に臨む心構え、姿勢を身につける。また、就職活動をしていく上で必要な履歴書の作成、面接対策、一般常識についても学ぶ。						
学習到達目標	1. 企業が求める人材像を理解する。 2. 仕事に臨むための職務知識が身についており、それを実践できる。 3. 主体的に就職活動を進めることができる。						
評価方法	出席状況、筆記試験、提出物等を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	求職票の作成/求人票の見方について 春季インターンの感想						
2	2年時の資格試験のスケジュール確認と申込						
3	業界就職説明会の案内及び申込/授業スケジュールにつ						
4	面接練習用紙の記入			「自分の強み」について理解する			
5	グループワークの実施			グループ内での発表と意見交換をすることで自身の強みを深く理解する			
6							
7	長所の作成とグループワークの実施			自身の強みを基に面接対策となる自分の長所について分析・理解し、それを話せるようにする			
8							
9	短所の作成とグループワークの実施			自身の短所について分析・理解し、それを話せるようにする			
10							
11	面接形式での長所および短所の発表と評価			発表した内容について評価を受け、より良い内容に改善していく			
12							
13	発表に対して評価を受けての手直し						
14	就職活動の記録と今後のスケジュール(保護者宛)作成						
15	前期末試験						
16	試験返却と解答解説/正しい言葉遣い(1年時の復習)			面接等に向けて改めて言葉遣いについて考える			
17	面接対策「趣味」について						
18	趣味についてグループ内で発表、意見交換						
19	面接形式で趣味の発表、評価			発表した内容について評価を受け、より良い内容に改善し、それを話せるようにする			
20	発表に対して評価を受けての手直し						
21	専門学校生の強みと自己分析(印象について)			相手に与える印象のポイントについて理解する			
22	第一印象～第三印象について			時間経過による印象の変化を理解する			
23	レポート「良い印象を与えるためにできること」			好印象を抱いてもらうためにできることを考える			
24	印象についての総まとめ			プリントを用いて学んできた印象についてまとめる			
25	目標設定4つのポイントと具体例			目標設定の重要性を理解する			
26	今後の目標とそれに向けた行動計画の作成、発表			卒業後の目標と達成に向けた行動計画を発表			
27	学生時代にしておくべきこと			先輩社員が伝える学生時代にしておくべきことを理解することで、残りの学生生活に活かす			
28	後期末試験						
29	試験返却と解答解説						
30	2年間の学校生活のまとめ						

令和6年度 シラバス

授業科目名	ビジネスソフト実習(2)		担当者名	加藤 朗			
			実務経験				
教科書	30時間でマスターExcel2019 (実教出版)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数 60					
授業概要	ビジネス社会でパソコンは欠かせない道具(ツール)であり、ペット業界とはいえ例外ではありません。その中でもビジネス文書の作成が求められるスキルであり、その手段としてワープロ、表計算ソフトの活用があります。						
学習到達目標	ビジネスソフトのひとつである表計算ソフトの基本的な操作方法を理解します。MS-Excelを使用し、基本的な操作方法を理解します。また、全国経理教育協会主催の文書処理検定(3・2級)の取得も目標とします。						
評価方法	出席・課題取組・実技試験など総合評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			Excelの機能、画面構成、マウスポインタ、入力			
2	基本的な表作成(計算式と関数)			計算式と関数の利用(合計を求める)、効率的な入力			
3	基本的な表作成(編集)			表操作(行と列の操作)、データの移動とコピー			
4	基本的な表作成(表示形式と罫線)			関数(平均)、計算式			
5	基本的な表作成(相対参照と絶対参照)			割合の計算、特定セルの利用、複写時の注意点			
6	基本的な表作成(相対参照と絶対参照)			絶対参照(昨年比など様々な比較計算)			
7	基本的な表作成(見やすい様式)			表示形式と罫線			
8	基本的な表作成(関数)			最大値・最小値、カウント			
9	基本的な表作成(セルの設定)			セル保護、条件付き書式			
10	基本的な表作成(関数)			端数処理			
11	応用的な表作成(判定処理)			IF関数による制御(基本パターン・複合条件)			
12	応用的な表作成(判定処理)			複雑な制御(多分岐)			
13	期末試験			基本的な表作成のまとめ			
14	グラフ作成			作成する際の注意点、棒グラフ			
15	グラフ作成			折れ線グラフ、円グラフ			
16	グラフ作成			3Dグラフ、複合グラフ、レーダーチャート			
17	順位付けと並べ替え			全経文書処理3級(学習範囲以外について)			
18	検定試験対策			全経文書処理3級(過去問題)の解き方			
19	表検索			Vlookup関数の理解			
20	表検索			Hlookup関数の理解			
21	表検索			Index関数の理解			
22	文字列処理			文字の長さ、取り出し、変換、結合			
23	文字列処理			字列・数値の返還			
24	データベース機能			便利な入力方法、ウィンドウ操作、並べ替え			
25	データベース機能(分析)			データの抽出、グループ集計			
26	データベース機能(分析)			クロス集計			
27	データベース関数			条件付きの合計・平均・最大・最小・カウント			
28	期末試験			表検索、絶対参照、グラフ、データベース機能			
29	マルチワークシートの利用			シートによる管理、条件付き関数			
30	ワードとの連携、印刷			他アプリデータの挿入とリンク、様々な印刷設定			

令和6年度 シラバス

授業科目名	マリンアクアリウム学		担当者名	朝比奈 理一			
			実務経験	海水魚専門店を経営している。			
教科書	はじめての海水魚飼育 クマノミからサンゴまで誰でも上手に飼える本 エムピージェー	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	必修	講義
	60						
授業概要	海水魚をはじめ、サンゴ・イソギンチャクなどの無脊椎動物の飼育をする上で必要不可欠な飼育器具・飼育環境・水質・生体の知識について学習する。						
学習到達目標	海水魚、サンゴ、イソギンチャクの飼育に必要な器具用品・生体の性格や特徴、各生体に合わせた水質等の総合的な飼育知識を身に付ける。						
評価方法	出席状況、筆記試験を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	海水魚飼育の基礎知識・海水魚を取り巻く環境			海水魚の魅力について学ぶ			
2	海水魚の飼育条件①			飼育に適した水質の条件を学ぶ			
3	海水魚の飼育条件②			バクテリアによる浄化の仕組みを理解する			
4	濾過設備について			濾過フィルターの仕組みと種類を学ぶ			
5	水温管理に必要な器具用品について			温度管理器具の使用方法を学ぶ			
6	殺菌灯・プロテインスキマー等の特殊器具について			特殊器具について学ぶ			
7	夏場・冬場の飼育管理上の注意点			季節ごとの管理方法を学ぶ			
8	魚種別飼育方法・スズメダイの飼育方法			種ごとの性格・特徴・特性・食性を理解する			
9	スズメダイの飼育方法						
10	クマノミの飼育方法			イソギンチャクの種類とクマノミの相性・組み合わせ			
11	クマノミとイソギンチャクの共生について						
12	クマノミとイソギンチャクの共生について			について理解する。			
13	ライブロックについて・その特徴と取り扱い方			ライブロックの成り立ち、効能、取り扱い方法を			
14	ライブロックについて・その特徴と取り扱い方			学び、理解する			
15	海水魚の病気について			海水魚が罹る病気の種類と治療方法			
16	前期末試験						
17	ヤッコの飼育方法			種ごとの性格・特徴・特性・食性を理解する			
18	ヤッコの飼育方法						
19	チョウチョウオの飼育方法						
20	チョウチョウオの飼育方法						
21	ハゼの飼育方法						
22	ハゼの飼育方法						
23	ハナダイの飼育方法						
24	ペラの飼育方法						
25	ハギの飼育方法						
26	ギンボの飼育方法						
27	フグの飼育方法						
28	無脊椎動物の飼育方法①			サンゴ・イソギンチャクの種類と特徴、飼育する上での注意点などを学び、理解する			
29	無脊椎動物の飼育方法②						
30	後期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	マリンアクアリウム実習		担当者名	朝比奈 理一			
			実務経験	海水魚専門店を経営している。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数 120					
授業概要	校舎内に設置された各水槽設備を使い、実際に生体を維持管理しながら生体の取り扱い方など必要な技術を身につける。何度も繰り返し作業を行う事で状況に合わせて行動できる能力を習得する。						
学習到達目標	生体の取り扱い方、機材の仕組み及び取り扱い方、長期飼育に必要な条件を理解し、生体の望む環境を一から作り上げ維持することが出来る。						
評価方法	出席状況、実技試験を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	水槽管理実習・生体の健康チェック・給餌・清掃			水槽内の生体の健康状態の確認、病気の有無、摂食意欲等を観察し、生体の体調の変化に気づく事が出来る。また水槽内の汚れを清掃し、水槽内環境を綺麗に保つ事が出来る			
2							
3							
4							
5	水槽管理実習・水質管理と水質検査			飼育水中に含まれる見えない成分の種類の把握と適正な数値条件について理解できる。また検査薬を使用しての水質検査が出来る			
6							
7							
8	水槽管理実習・水槽設備・濾過装置の取り扱い方			設置されている器具用品、濾過装置の効果が理解でき、設置など取り扱う事ができる			
9							
10	水槽管理実習・新規水槽設置方法			既存の水槽設備に新規に生体を導入するにあたっての方法と注意点が理解できる。1つの水槽設備を新たに設置し、生体が導入出来る状態まで作り上げる事ができる			
11							
12							
13	水槽管理実習・水槽内レイアウト実習			水槽内に設置されるサンゴ岩の重要性を理解できる。水槽内の環境に与える影響を考えながら最適なレイアウトが出来る			
14							
15	水槽管理実習・ライブロックのレイアウト実習・取り扱い方			ライブロックとは何かを理解し、取り扱う事が出来る。また、ライブロックを使用してレイアウトが出来る			
16							
17	水槽管理実習・濾過装置メンテナンス方法			濾過装置のメンテナンスの重要性を理解し、メンテナンスをする事ができる			
18							
19	水槽管理実習・無脊椎動物の飼育とレイアウト方法			サンゴ、イソギンチャクの生態を理解し取り扱う事が出来る。サンゴなどを水槽内に導入出来る			
20							
21	水槽管理実習・水槽設備・濾過装置の定期メンテナンス方法			定期的な設備メンテナンスが素早くできる			
22							
23	水槽管理実習・無脊椎動物の飼育とレイアウト方法			サンゴ、イソギンチャクの生態を理解し取り扱う事が出来る。サンゴ等を水槽内に導入する事が出来る			
24							
25	水槽管理実習・水槽設備・濾過装置の定期メンテナンス方法			定期的な設備メンテナンスが素早くできる			
26							
27	水槽管理実習・無脊椎動物の飼育とレイアウト方法			サンゴ、イソギンチャクの生態を理解し取り扱う事が出来る。サンゴ等を水槽内に導入出来る			
28							
29	水槽管理実習・無脊椎動物の飼育とレイアウト方法			サンゴ、イソギンチャクの生態を理解し取り扱う事が出来る。サンゴ等を水槽内に導入出来る			
30							

令和6年度 シラバス

授業科目名	ペットショップ販売学		担当者名	千葉 雅司			
			実務経験	ペットショップでの勤務経験がある。			
教科書	ペットビジネス プロ養成講座 ペットショップ 基礎&実践 インターズー	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	必修	講義
60							
授業概要	動物販売時の注意点や説明のポイント、フードや栄養学、犬種・猫種について学習する。						
学習到達目標	命ある生き物を販売する責任と最低限の知識を身につける。						
評価方法	筆記試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	動物の仕事の種類と内容			実際の仕事内容の理解をする			
2	実際の仕事内容の理解をする			動物のプロとして働く際に必要になる考え方と心構えを学ぶ			
3	動物販売時の注意点			動物を販売する際の心構えと意識について学ぶ			
4	犬の歴史と特徴について			犬の起源から、現在に至るまでの歴史と特徴について学ぶ			
5	耳・目・鼻の特徴			特徴的な器官の特徴と役割について学ぶ			
6	健康管理をする際のチェックポイント			健康管理の際、普段からチェックしておく箇所について学ぶ			
7	感染症とワクチン			特に注意が必要な感染症とワクチンの種類・必要性について学ぶ			
8	社会化期について			犬の社会化期と時期について学ぶ			
9	JKCのグループの特徴			第1・2・3グループの特徴について学ぶ			
10	JKCのグループの特徴			第4・5・6グループの特徴について学ぶ			
11	JKCのグループの特徴			第7・8・10グループの特徴について学ぶ			
12	JKCのグループの特徴			第9グループの特徴について学ぶ			
13	ダックスフンドの特徴と注意点			販売時に必要な知識と注意点について学ぶ			
14	チワワの特徴と注意点			販売時に必要な知識と注意点について学ぶ			
15	トイ・プードルの特徴と注意点			販売時に必要な知識と注意点について学ぶ			
16	前期末試験			前期末試験			
17	試験返却・解答・解説 まとめ			まとめ・解説			
18	猫の歴史と特徴について			猫の起源から、現在に至るまでの歴史と特徴について学ぶ			
19	猫の特徴			猫の特徴と感染症、ワクチンの必要性について学ぶ			
20	犬との説明の違いと注意点			犬との違いについて理解する			
21	犬・猫の食性活、嗜好性について			食生活の特徴や嗜好性のポイントについて学ぶ			
22	動物の5大栄養素			炭水化物・脂質・タンパク質の特徴			
23	動物の5大栄養素と水			ミネラル・ビタミン・水の特徴			
24	ペットフードの種類			水分含有量別の特徴			
25	ペットフードの種類			目的食別の特徴			
26	ペットフードの種類			価格帯別の特徴			
27	ペットフードの種類			成長段階別の特徴			
28	ペットシーツ			良く売れるサイズ・特徴			
29	後期末試験			後期末試験			
30	試験返却・解答解説			解説・まとめ			

令和6年度 シラバス

授業科目名	飼育管理学(2)		担当者名	武田 雅道			
			実務経験	ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	ワイド版・動物図鑑シリーズ 小動物の飼い方図鑑 日東書院	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
60							
授業概要	多様化・特殊化するペットに対応し学ぶ。						
学習到達目標	飼育の基礎、用品、用語、注意点などを理解して身につける。						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	モルモット			飼育環境と習性について、餌について、使用する用品等について			
2							
3							
4	チンチラ						
5							
6							
7	デグー						
8							
9							
10	マウス・ラット～その他のネズミ類について						
11							
12							
13	フィンチ、ブンチョウ、カナリア						
14							
15							
16	地上性リス～リチャードソンジリス・プレーリードッグ・樹上性リス～シマリス・エゾリス(大型リス)						
17							
18	ワシントン条約・ラムサール条約			理解しておくべき法律等			
19	レッドデータブック			絶滅等について			
20	モモンガ、フクロモモンガ、アメリカモモンガ、タイリクモモンガ、アフリカヤマネ等			飼育環境と習性について、餌について、使用する用品等について			
21							
22							
23	ハリネズミ、ピグミーヘッジホック						
24							
25							
26	特殊な動物について～サル(リスザル・マーモセットなど)			飼育方法			
27	猛禽類、フクロウ、ミミズク、ハヤブサ等、タカ類等			飼育環境と習性について、餌について、使用する用品等について			
28							
29	全体の見直しと復習			テキスト			
30							

令和6年度 シラバス

授業科目名	飼育管理実習(2)		担当者名	藤本 悠仁			
			実務経験	ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	必修	実習
120							
授業概要	生体に直に触れ、管理方法、清掃方法、餌の与え方、取り扱い方等について学ぶ。						
学習到達 目標	一年次に学んだ事柄をベースに、一段階上の管理を考える。生体を「管理する」という目線から様々な理解と経験を身につける。						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	生体管理、清掃等			<ul style="list-style-type: none"> ・生体の健康状態のチェック ・実際に触れての確認 ・その他異常がないかの確認 			
2							
3							
4	清掃等に使う資材についてのコスト等を考える			<ul style="list-style-type: none"> ・餌の容器の回収や洗浄 ・各自ケージ等の清掃、消毒等 ・餌の作成 			
5							
6							
7	「ほう・れん・そう」の徹底						
8							
9							
10	率先垂範での行動						
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

令和6年度 シラバス

授業科目名	小動物繁殖学		担当者名	武田 雅道			
			実務経験	ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数					
30							
授業概要	生体の繁殖術を学びながら命について考える。						
学習到達目標	各種生体の繁殖のノウハウを身につける。						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	ウサギ			繁殖環境について、性成熟と発情周期について、お見合いについて(パートナー選定)			
2							
3							
4	ハムスター			妊娠期間について、妊娠中の世話と環境について、妊娠している生体への注意点について			
5							
6							
7	インコ・フィンチ			出産準備、用品について、出産後の管理について、赤ちゃんの管理について			
8							
9	デグー・モルモット・チンチラ			離乳の期間と食事について、離乳後の管理、食事について、親から子供を放す時期について			
10							
11							
12	爬虫類 両生類 昆虫			ブリードとは、繁殖するについての心構えについて、繁殖する意味について			
13							
14	その他の生体			繁殖に必要な事柄、繁殖についてのS(スペース)T(時間)M(お金)について			
15							

令和6年度 シラバス

授業科目名	総合学習(2)		担当者名	菅原 学			
			実務経験	総合ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	前期	必修	講義
30							
授業概要	就職活動、進路決定に関する個人面談の実施。その他、就職活動のサポートや給与計算、冠婚葬祭など1年次に学習したビジネスマナーについてさらに深く総合的に学習をおこなう。また、各行事や郊外研修に關しての連絡やクラスでの取り決めなども実施する。						
学習到達目標	1. 自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を身につける。 2. 希望する進路に進むために就職活動を主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方、進路選択を考えることができるようにする。						
評価方法	出席状況、筆記試験、授業態度を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	授業オリエンテーションと科目目標について						
2	SPIについて			SPIとは。プリント配布、問題の実施			
3	冠婚葬祭について			冠婚葬祭のマナーについて			
4	郊外研修(予定)			*1日の研修で4時限と計算する			
5				*1日の研修で4時限と計算する			
6				*1日の研修で4時限と計算する			
7				*1日の研修で4時限と計算する			
8	領収書について			ペット祭前に領収書の取り扱い			
9	ペット祭について			計画書について			
10	ペット祭について			見積書、領収書について、個人面談			
11	ペット祭について			部門に分かれての作業、個人面談			
12	ペット祭について			部門に分かれての作業、個人面談			
13	ペット祭について			部門に分かれての作業、個人面談			
14	前期末試験						
15	テスト返却、前期の振り返り						

令和6年度 シラバス

授業科目名	爬虫類・両生類・昆虫学		担当者名	藤本 悠仁			
			実務経験	ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	爬虫両生類の上手な飼い方 株式会社 エムピージェー	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数					
30							
授業概要	多様化・特殊化するペットに対応し学ぶ。						
学習到達目標	飼育の基礎、用品、用語、注意点などを理解して身につける。						
評価方法	出席・レポート・課題取組・発表・試験の結果を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	カメ全般について			飼育方法・用品・用語・餌等について			
2				地中海リクガメ・アジア系リクガメ			
3				スッポンモドキ・ヘビクビガメ等			
4	ヘビ			飼育方法・用品・用語・餌等について			
5	ナミヘビ			コーンスネーク・キングスネーク等			
6	ボア・パイソン			ボールパイソン			
7	トカゲ			飼育方法・用品・用語・餌等について			
8	地上性トカゲ			ヒョウモントカゲモドキ・フトアゴヒゲトカゲ等			
9	樹上性トカゲ			グリーンイグアナ・バシリスク等			
10	モニター			サバンナオオトカゲ・デグー等			
11	昆虫			飼育方法・用品・用語・餌等について			
12	甲虫類			カブトムシ・クワガタ			
13	両生類			飼育方法・用品・用語・餌等について			
14	カエル			ベルツノガエル・イエアマガエル等			
15	前期末試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	爬虫類実習(2)		担当者名	菅原 学			
			実務経験	総合ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	爬虫両生類の上手な飼い方 株式会社 エムピージェー	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	必修	実習
60							
授業概要	講義を通して爬虫類、両生類の生態の違いや身体の仕組みを理解し、その上で飼育方法について深く学ぶ。実習では身に付けた知識を飼育動物の生態や習性に合わせ応用しながら実践していく。						
学習到達目標	1. 爬虫類、両生類の適切な飼育管理ができる。 2. 爬虫類、両生類の生理・生態について理解している。 3. 爬虫類、両生類に関する法令について理解している。						
評価方法	出席状況、課題提出、実技評価等を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	「観察」の重要性について			観察を目的としたスケッチを実施し、動きや身体の造りを理解する			
2	生体管理実習						
3	「エキゾチックアニマル爬虫類・両生類編」より「はじめに」			爬虫類や両生類が一般的にどのように見られているのかを理解する			
4	生体管理実習						
5	爬虫類と両生類の生物的特徴について①			両生類・爬虫類の違いを理解する			
6	生体管理実習						
7	生体管理実習						
8	外来生物問題について			外来生物問題について国内外の現状について理解する			
9	生体管理実習						
10	「気を付けて!危険な外来生物」 「日本の在来種も海外から見れば外来種」			具体的な外来生物の種類とそれらを取り締まる法律について理解する			
11	生体管理実習						
12	「ワシントン条約」について①			ワシントン条約について学ぶ事で世界では動物を取り巻くどのような問題が起きているのかを理解する。また、国と国との間でどのような条約の下に取引がされているのかを理解する			
13	生体管理実習						
14	「ワシントン条約」について②						
15	生体管理実習						
16	毒蛇について「マムシに噛まれたら」①			毒蛇被害の実例を基に毒性を理解し適切な対処方法を身につける			
17	生体管理実習						
18	生体管理実習						
19	「爬虫類と紫外線」について①			紫外線の種類と効果・効能を理解し適切な飼育環境の実現に繋げる。また、紫外線が及ぼす科学的な効果についても学ぶ事で光について理解を深める			
20	生体管理実習						
21	「爬虫類と紫外線」について②						
22	生体管理実習						
23	「爬虫類と紫外線」について まとめレポートの作成			「爬虫類と紫外線」の項で学んだ内容をレポートにまとめる。その際には独自の考察や疑問点を入れていくことで考える力を涵養することにも繋げていく			
24	生体管理実習						
25	生体管理実習						
26	カメの歴史と進化、適正飼養について			水棲カメと陸棲カメの違いや進化の過程を理解する			
27	生体管理実習						
28	爬虫類、両生類の冬眠について①			爬虫類、両生類のみならず小動物などにも見られる冬眠行動について理解することで、飼育下で冬眠を避ける理由について理解する			
29	生体管理実習						
30	爬虫類、両生類の冬眠について②						

令和6年度 シラバス

授業科目名	プレゼンテーション		担当者名	山口 順子			
			実務経験				
教科書	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPint2019 (実教出版)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	前期	必修	実習
30							
授業概要	お客様に分かりやすく商品説明をし、それを理解してもらい購入するという行動変化をもたらす技術は社会に出てからとても重要なものとなる。人前で効果的に「伝える」ツールとして多く使われているPowerPointの操作方法や資料作成を学習する。						
学習到達目標	プレゼンソフトで最も多く利用されているPowerPointをマスターする。また、効果的な表現方法、話し方、流れを考え、演習を繰り返すことで身につける。発表することで、併せて聴く態度、質問の仕方も学習する。						
評価方法	出席状況、課題提出、実技試験等を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション			プレゼンとは、デモンストレーション			
2	PowerPointソフトの利用			資料作りのポイント、文字と画像、基本操作			
3	PowerPointの基本操作			箇条書きのポイント、定石			
4	PowerPointの基本操作			演習(自己紹介の作成)、簡潔な表現			
5	PowerPointの基本操作			演習(自己紹介の作成)、画像、グラフの挿入			
6	PowerPointの基本操作とプレゼンの実施			プレゼンの実施(発表の態度)、メモ			
7	PowerPointの基本操作とプレゼンの実施			プレゼンの実施(聴きかた、態度、質問、評価)			
8	PowerPointの基本操作とプレゼンの実施			プレゼン機器の接続と準備(資料の印刷)、課題			
9	PowerPointの基本操作とプレゼンの実施			スライドの作成(紹介したい、お勧めしたいこと・もの)			
10	PowerPointの基本操作とプレゼンの実施			上記プレゼンの実施			
11	プレゼンの応用(詳細をわかりやすく)			既成文書のプレゼン1(他人の文章の理解)			
12	プレゼンの応用(詳細をわかりやすく)			演習(新聞記事を使用したプレゼン、内容の理解、スライド作成)			
13	プレゼンの応用(詳細をわかりやすく)			演習(新聞記事を使用したプレゼン、発表)			
14	プレゼンの効果的テクニック			既成文書のプレゼン2(長い記事の理解とまとめ)			
15	プレゼンの効果的テクニック			演習(新聞記事を使用したプレゼン、テーマの決定)			

令和6年度 シラバス

授業科目名	ドッググルーミング実習		担当者名	荻原 早知子			
			実務経験	ペットサロンでの勤務経験がある。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数					
120							
授業概要	3時限のうち1時限でグルーミング学を行い、講義で学んだ内容を実技のグルーミング実習で実際の犬を使用し、確認しながら進める。講義では主に板書やプリントを使用し、一つひとつの項目の知識を習得する。						
学習到達目標	1. グルーミングを行う上で必要となる心構え、知識、技術を身につける。 2. 犬の生態を理解し、扱い方を身につける。 3. 犬の飼養方法やお手入れ方法に悩んでいるお客様に的確なアドバイスができる。						
評価方法	出席状況、実習取組、試験等を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	オリエンテーション(実習の進め方、身だしなみ、掃除の仕方)			本科目を学び身につけるべき能力、心構えを知る。ペット業界においてグルーミングがどのような場面で活かされるか、求められるかを理解する			
2	グルーミング用語			グルーミングを行う理由や用語を理解することにより、安全にグルーミング実習を行うことが			
3	犬体名称			業界で使用される英語での犬体名称を覚える			
4	爪の構造			爪の構造を理解し、安全な爪切りの仕方を実践する			
5	肛門囊			肛門囊について理解し、肛門腺の絞り方を実践する			
6	耳の構造			耳の構造を理解し、安全な耳掃除の仕方を実践する			
7	耳の疾患			耳の疾患を学ぶことにより、病気の可能性に気付けるようになる			
8	皮膚の構造			皮膚の構造を理解することにより、皮膚の状態や病気の可能性に気付けるようになる。また、その犬に適したシャンプーの選択ができるようになる			
9							
10	被毛			被毛の役割を理解することにより、シャンプーやドライイングの仕方をより効率よく行うことが			
11	バリカン			バリカンの構造、手入れ方法を学ぶ			
12	狂犬病ワクチン			狂犬病を理解することで、ワクチンの重要性を飼い主様に伝えられるようになる			
13	混合ワクチン			ワクチンの特性や防げる病気を理解することで、ワクチンの重要性を飼い主様に伝えられるようになる			
14							
15	前期末試験						
16	試験返却			前期授業のまとめ、復習			
17	犬のカラー			犬のカラーを学ぶことにより、お客様の求める犬の紹介や繁殖においても活かすことができる			
18							
19	シャンプー			シャンプーの目的や汚れを落とす仕組み、種類を理解することで、ペイジングを効率よく行うことができる			
20							
21							
22	シャンプーの選択・成分			シャンプーの成分を学ぶことで、飼い主様のニーズ、犬の種類や状態に合わせた選択ができるようになる			
23							
24							
25	薬用シャンプー			皮膚病の症状についても学びながら、薬用シャンプーの種類、役割、使用方法、使用上の注意を理解することにより、飼い主様に的確な選択、アドバイスができるようになる			
26							
27							
28							
29	期末試験						
30	試験返却			後期授業のまとめ、復習			

令和6年度 シラバス

授業科目名	POP広告実習		担当者名	安住 智絵			
			実務経験	ペットイラストレーターとして活動している。			
教科書	教科書は使用しない 配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	必修選択	実習
120							
授業概要	1. POP広告の基礎知識を学ぶ 2. イラストの描き方を学ぶ 3. 用途や場所に合わせて様々な種類の広告を使い分ける						
学習到達目標	見やすく効果的なPOP広告を作成できる						
評価方法	筆記試験、実技試験を総合的に勘案し評価						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	概要説明と校内の掲示物・用品室の見学			授業の必要性を知る			
2	POP広告の定義と特長、効果			基本的知識を理解する			
3	「自分の好きなもの」紹介POP作成			各犬種の知識と身体的特徴を知る			
4							
5							
6	AIDMAの法則について、POPの種類			購買時の心理について理解する			
7	色について			色の効果や組み合わせの印象を理解する			
8	太ペンの使い方			太いペンのメリットと使い方を理解する			
9	価格訴求の広告づくり			価格を強調する方法を理解する			
10							
11	品質訴求の広告づくり			内容を魅力的に見せる方法を理解する			
12							
13	イラストについて			写真とイラストの効果を理解する			
14	期末試験						
15	試験返却・まとめ						
16	POPの装飾、工夫の種類			より見やすい工夫を学ぶ			
17	シーズン装飾、POPづくり			季節に合った装飾を学ぶ			
18							
19	パネルを用いたPOPづくり ・卓上POP ・天吊りPOP			パネルの扱い方を理解する			
20							
21							
22	紙製卓上POPづくり			掲示場所や目的に合ったPOPを作る			
23	抱きつきPOPづくり						
24	ガーランド風POPづくり						
25	シーズン装飾、POPづくり			季節に合った装飾を学ぶ			
26							
27	短時間でPOPをつくる練習			作成時間を常に意識する			
28							
29	期末試験						
30	試験返却・まとめ						

令和6年度 シラバス

授業科目名	愛玩動物飼養管理士1級対策		担当者名	岩淵 周子			
			実務経験	動物看護師として動物病院での実務経験がある			
教科書	愛玩動物飼養管理士1級教本 第1巻、第2巻 公益社団法人 日本愛玩動物協会	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		4					
		時間数	飼育管理科 飼育コース	2年	通年	選択	講義
		60					
授業概要	1級愛玩動物飼養管理士試験の合格を目標に、動物関連の法律から動物愛護史、動物の正しい飼養方法や栄養管理、動物の生体についてや公衆衛生に至るまで、様々な勉強を行う。						
学習到達目標	1級愛玩動物飼養管理士に合格すること。						
評価方法	筆記試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	愛玩協会スクーリング			愛玩協会について、内容について理解する			
2							
3							
4							
5	動物の疾病と予防(対策授業)						
6	対策模試①						
7	動物の疾病と予防(対策授業)						
8	対策模試②						
9	動物の疾病と予防(対策授業)						
10	対策模試③						
11	動物の遺伝と繁殖整理						
12	対策模試④						
13	動物の遺伝と繁殖整理						
14	対策模試⑤						
15	動物の行動と社会						
16	対策模試⑥						
17	動物の行動と社会						
18	対策模試⑦						
19	動物の栄養学						
20	対策模試⑧						
21	動物の栄養学						
22	対策模試⑨						
23	ここまでの復習						
24	動物の法律について						
25							
26	試験に向けての今までの復習						
27							
28	まとめテスト						
29							
30	愛玩動物飼養管理士 本試験						

令和6年度 シラバス

授業科目名	愛玩動物飼養管理士2級対策		担当者名	菅原 学			
			実務経験	総合ペットショップでの実務経験がある。			
教科書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第1巻、第2巻 公益社団法人 日本愛玩動物協会	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		2					
		時間数					
		30					
授業概要	2級愛玩動物飼養管理士試験の合格を目標に、動物関連の法律から動物愛護史、動物の正しい飼養方法や栄養管理、動物の生体についてや公衆衛生に至るまで、様々な勉強を行う。						
学習到達目標	2級愛玩動物飼養管理士に合格すること。						
評価方法	筆記試験						
時数	授 業 内 容			到達目標・学習課題など			
1	愛玩動物飼養管理士とは			概要と過去の合格実績			
2	夏休みの課題と進め方について			練習問題の実施			
3	課題への取り組み			グループワーク			
4	スクーリングの実施			協会主催のスクーリング			
5							
6							
7							
8	期末試験の実施			課題報告問題			
9	課題報告問題の解答および解説			教本第1巻			
10							
11				教本第2巻			
12							
13							
14	本試験前直前対策			傾向を見て苦手箇所を集中的におこなう			
15							